



完成した「ふるさと石川の文学」に見入る金沢学院大文学部の日本文学研究室の皆さん

# 一般向けの案内書

## ふるさと石川の文学 発刊

金沢学院大文学部の日本文学研究室が総力を結集して執筆した「ふるさと石川の文学」が、二十五日発刊しました。万葉の歌人大伴家持から直木賞作家唯川恵さんまで千三百年間にわたる石川県ゆかりの文学を網羅した一般向けの案内書となっています。

小説の恋愛スボットを盛り込むなど若者の興味をそそる「読み物」ながら、北陸の文学土壌の深みと広がりが見え、石川文学事典の風格も漂う秀逸の内容となりました。

郷土の方言を探る「石川のことば」に始まり、古くは万葉集や平家物語、藩政期の戦国軍記、千代尼の句や芋掘藤五郎の昔話も盛り込んだ。近代以降は鏡花・秋声・犀星の金沢三文豪はもちろん、西田幾多郎や鈴木大拙など哲学も紹介。中野重治や井上靖ら旧制四高の仲間、五木寛之さんや唯川恵さん、金沢女子短大（現金沢学院短大）卒なら人気作家の作品もふんだんに

同書はA5判約三百ページで、北國新聞社が制作した。金沢学院大文学部日本文学科が蓄積してきた北陸の文学研究が集約され、九人の教官が高い専門性を発揮しながら郷土の文学を味わえる一冊となっています。

# 日本文学研究室が総力

## 「石川文学辞典」の風格も

解説している。

### 教職員2チームが完走

金沢城リレーマラソン

金沢城公園で四月二十七日行われた「第2回利家」とまつ 金沢城リレーマラソン」に、金沢学院大学教授A、Bの2チームが参加、仲間が応援するなか見事に完走しました。

Eース7人を集めたAチームは、3時間10分38秒で出場二百二チーム中の総合で55位、職場部門（86チーム）で21位と健闘しました。Bチームは、3時間35分38秒で総合153位、職場部門6



3位でした。参加者は次の皆さん「写真」。

Aチーム（リレー順）奥田浩、望月弘、西川亨、佐々木圭一、奥井伸吾、島崎外志夫、望月ゆかり

Bチーム（リレー順）長尾準一郎、前島修、村尾直仁、川畑松晴、竹内和恵

新谷典透、中西勤、福井尋一、竹川武彦、望月弘、可部野和子、徳田正人、望月ゆかり



## 杉山 元高 勲四等瑞宝章

二〇〇三年春の叙勲で元金沢東高校校長の杉山直男氏「写真」が、勲四等瑞宝章の榮譽に輝きました。昭和二十七年に金沢女子短大高校教諭につき、五十五年から十二年間校長を務め、金沢東高校が男女共学となった平成五年から七も再び校長を務めた。

四十九年間にわたり、女子短大高校から金沢東高校で私学教育の発展に尽くした業績が認められました。



## 塩野教授に藍綬褒章

二〇〇三年春の褒賞で金沢学院短大の塩野尚文教授（日本トランポリン協会副会長「写真」）が藍綬褒章を受章しました。

塩野教授はシドニー五輪6位入賞の古椅子選手らを育成したほか、トランポリン競技の普及と組織づくりに奔走、競技スポーツだけでなく、レクリエーションとして指導方法や普及員指導制を確立した功績が認められました。

発行・入試広報部